

ホタル元気に育て

門川高生と西門川小児童

三ヶ瀬川に幼虫放流

11.27
お宮

ホタルの完全養殖に成功している門川町・門川高（勝河元春校長、449人）総合学科ネイチャーサイエンス系列ホタル班の生徒9人と、西門川小（西森敏弘校長、36人）1、2年生14人は、同町を流れる五十鈴川の支流・三ヶ瀬川にホタルの幼虫をこのほど放流した。門川高生が卵からかえした幼虫250匹で、協力して「元気に育てね」と清流へ放った。

生徒たちが取り組むホタルの養殖と研究は、「水」をこ

ンセプトにした総合学習の一環。放流の前に、生徒を代表して3年生の米良寿明君（17）が先生となって授業も開いた。「一回に産む卵の数は」「餌は何でしょう」などとホタルの生態や特徴をクイズ形式で投げ掛け、児童たちは元気に答えていた。

三ヶ瀬川では、幼虫の餌となるカワニナと二緒に放流。米良君たちが「ホタルがすみ続けられるよう、川にごみを捨てないようにしようね」と呼び掛けていた。2年生の下田

拳太郎君（7）は「ホタルのこ



三ヶ瀬川にホタルの幼虫を放流する西門川小児童と門川高生

こ大きくなるとうれい」と話とを勉強できて楽しかった。していた。